

法典だより

学校評価特別号 令和5年3月2日
船橋市立法典小学校
連絡先:439-0832

学校教育目標:自ら進んで行動する児童を育成する 学ぶ子・思いやりのある子・身体をきたえる子 『本気で取り組む法典小学校』

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございます。アンケート結果を基に、来年度に向けての改善策を練り、学校評議員の皆様にご意見をいただきました。以下に、アンケートの結果と今後に向けてのまとめをお知らせいたします。

I 教職員アンケートについて

・学校教育目標「自ら進んで行動する児童を育成する ～本気で取り組む法典小学校～」について

肯定的な回答が多く見られました。特に今年度は、「本気で取り組む児童」の育成に向けて、職員一同、教育活動に臨みました。来年度も引き続き学校全体で目標達成に向けての意識の継続を図るとともに、目指す児童の姿をより明確にして教育活動を行います。

・子供たちの困りごと等への対応や教育相談の充実について

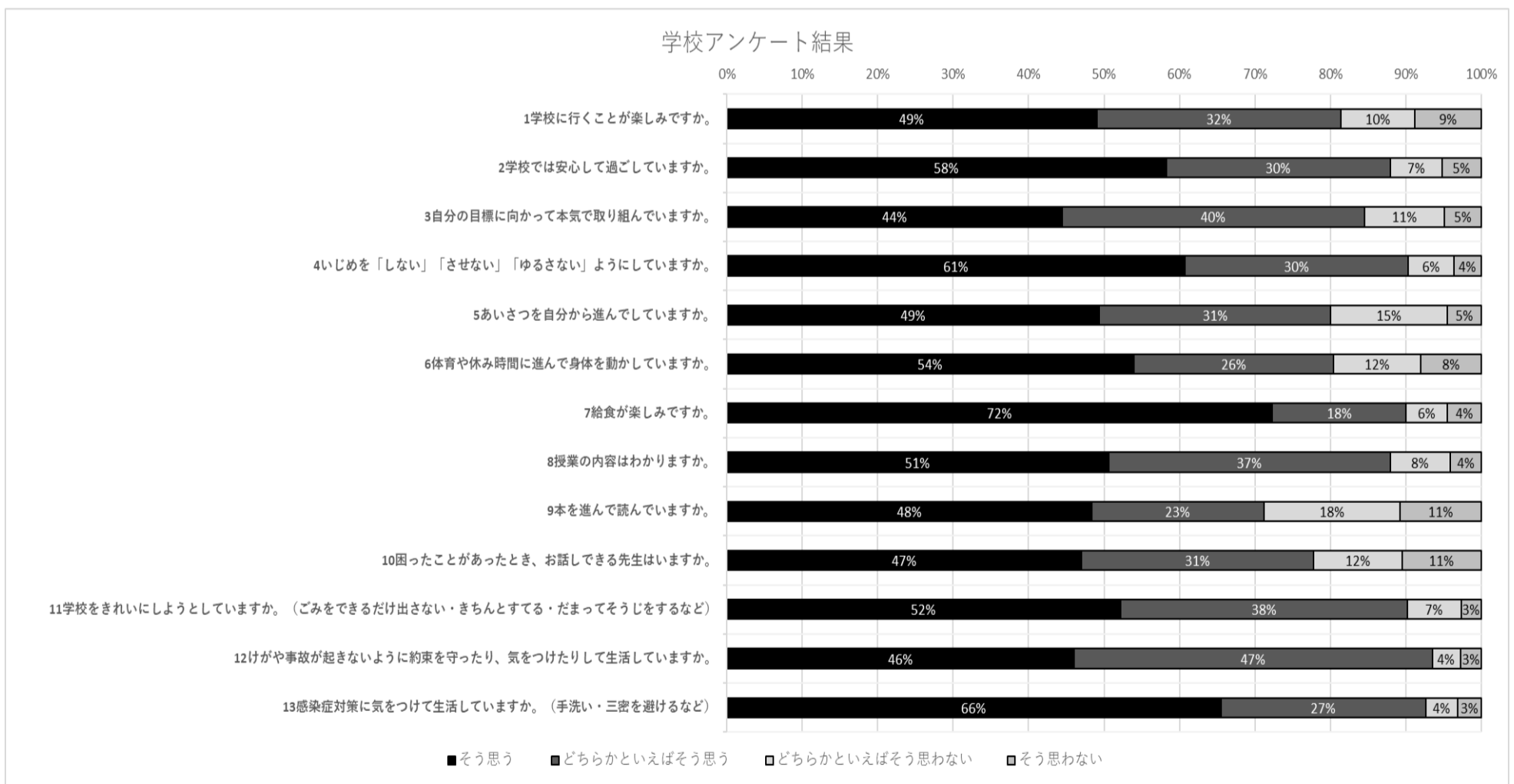
肯定的な回答が多く見られました。特に相談活動の充実については、昨年度より肯定的回答が増しました。子供たちを理解するように努力し、様子を細かく見たり保護者の方と連携を図ったりして、児童のよりよい成長に向けて指導・支援に努めてきました。今後も児童一人一人の理解に努めるとともに、相談体制を整え、一層の充実を図っていきます。

・学習指導について

基礎基本の定着や「めあて・まとめ・振り返り」を意識した授業づくりを行ってきました。また授業の中に「対話」の時間を設定し、考えを伝え、比較し、考え方を広げていくことに取り組み始めました。一方、学習時間のルール・マナーを守ることや、自らの力で課題解決をする点については、課題が残っています。ルールやマナーについては、今後も発達段階に応じた指導を継続していきます。自らの力で課題を解決する力については、市指定の「確かな学力の向上」の研究もありますので、授業改善等を行い、学校全体で研究を進めていきます。

II 児童アンケートについて

(1) 実施項目と結果 (回収率 100%)



(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、13項目中11項目において肯定的回答が8割を超えました。「そう思う」の割合を増やし、肯定的な意見がさらに増えるよう努力していきたいと考えています。

・9 自主的な読書活動への取り組みについて

この回答は最も低いものとなりました。「図書」の時間を国語の学習の中に設定したり、読み聞かせや本の紹介など読書活動への関心を高める取り組みを実施したりしてきましたが、十分ではなかったようです。特に学年が上がるにつれてその割合は低下する傾向が見られます。本に触れる学習活動の機会を大切にするとともに、児童の関心が高まる新刊本の紹介・整備などを進め、読書活動が充実するよう努めていきます。

・10 困ったことがあった時の相談先について

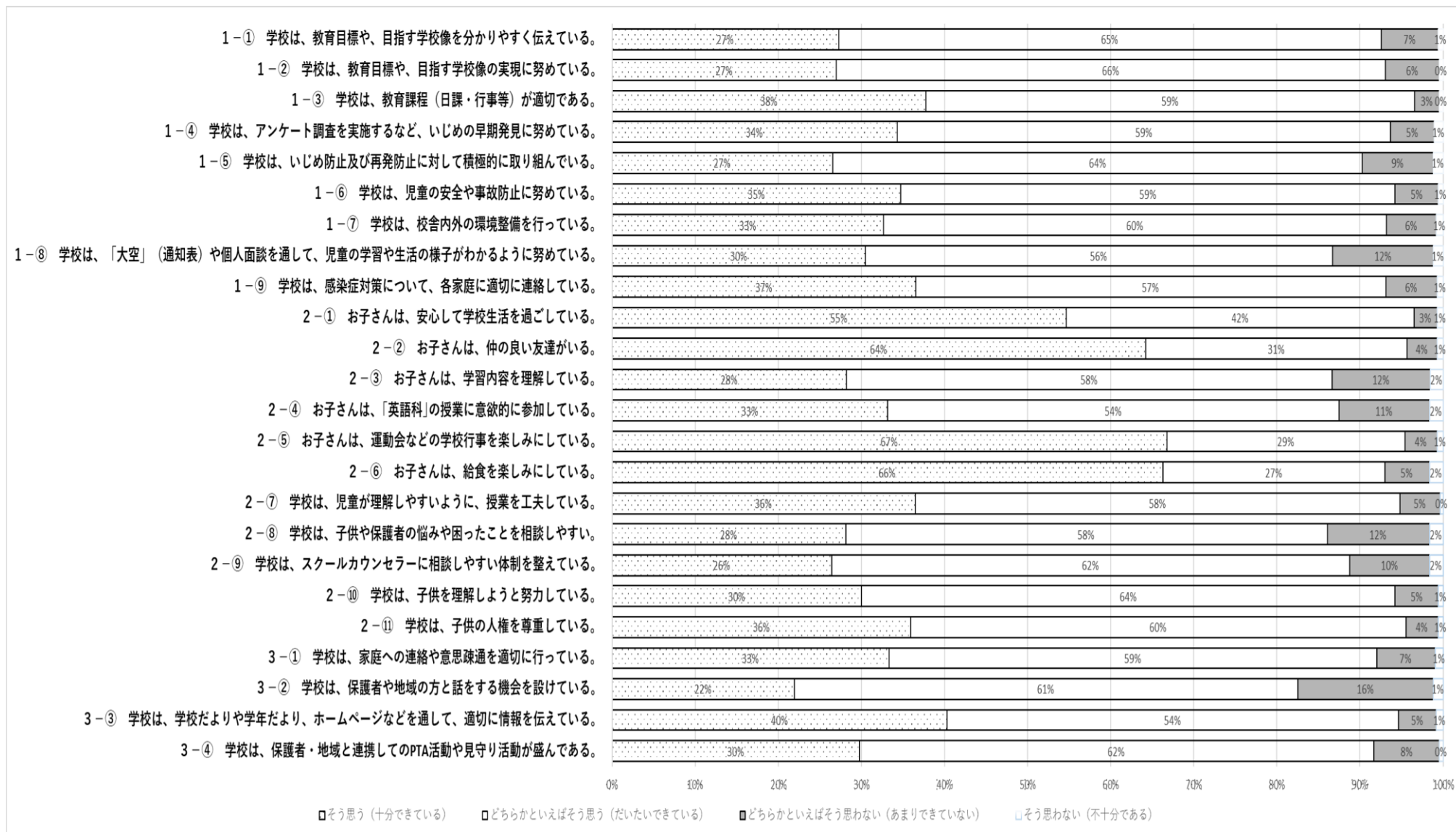
肯定的回答が8割に届きませんでした。担任による児童への定期的な声掛けや相談を行い、児童理解に努めてきましたが、児童には困った時、担任以外に「誰に相談してよいのか」「どうやって相談に乗ってもらったらよいのか」等が十分に理解されていなかったようです。年度初めに困った時の相談先等について周知するとともに、定期的に児童へ伝え、児童が安心して悩みを打ち明けられる雰囲気を作っていきます。

・12・13 けがや事故の防止や感染症対策について

児童の肯定的な回答の割合が高い結果となりました。しかし、自転車との接触事故等、登下校の仕方についての課題が見られたため、教職員によるパトロールを定期的実施しました。子供たちへの注意喚起を継続し、意識の持続を図るとともに学級活動での安全指導の充実に取り組んでいきます。

Ⅲ 保護者アンケートについて

(1) 実施項目と結果 (回収率 80.0%)



(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、すべての項目において肯定的回答の割合が8割を超えていますが、「そう思う」の割合がまだ低いので高まるように努力していきたいと考えています。

・1-④・⑤ いじめ防止への取り組みについて

昨年度よりも少し高い肯定的回答をいただきました。今年度においても、児童への生活アンケートを5回実施するとともに、日々の児童の様子を観察や担任による児童への定期的な声掛けを継続して行いました。実際には、思いやりの心を育てようと、道徳や学級活動を通して、考える時間を設定し、心の教育の充実にあたってきました。今回、「アンケート結果や他の対策について分からない」というご意見をいただきました。生活アンケートの結果については、公表していませんが、いじめととらえられる内容があった場合、その都度、解決するように努力しています。学校のいじめ対策については今後もお伝えをし、ご理解いただくとともに、家庭・地域との連携を図り、いじめ防止に取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

・1-⑧「大空」(通知表)や個人面談について

「個人面談があると様子がとてもよく分かる」といった個人面談の良さについてのご意見をいただきました。一方、前期の「大空」(通知表)については、学習指導要領の改訂に準拠した評価としたことや所見がないことから、「分かりにくい」というご意見をいただきました。昨年度も同様の学校評価がありましたので、10月に希望面談を設定いたしました。しかしながら、面談を希望したご家庭は多くありませんでした。来年度におきましても、10月に希望面談を設定し、担任から直接児童の様子を伝えていく機会とします。是非ご活用ください。なお、来年度の予定については、早めにお知らせします。

・2-⑧子供や保護者の悩みや困ったことの相談について

昨年度より高い肯定的回答をいただきました。今後も児童や保護者の方の思いや悩みに寄り添い、ともに考え、より良い対応をしていくことに努めていきます。スクールカウンセラーへの相談の周知を図る一環として、学校だよりの行事予定にスクールカウンセラーの来校日を掲載しています。

・3-③各種たよりやホームページでの情報の伝達について

昨年度より肯定的回答がやや低い割合でした。(2%減)特にホームページの活用についてご意見をいただきました。今年度においても日々の学習や生活の様子を常に更新しましたが、周知が足りず、更新がないという印象を与えてしまったようです。学校ホームページのレイアウトを变えらるとともに、学校だよりでも日々の様子を掲載していることを周知します。また地域への下校時刻のお知らせについて、不安の声がありましたので、配付物の内容改善を図りました。

保護者や地域の方に少しでも本校の教育活動を知っていただくため、引き続き、学校の様子を学校だよりやホームページを通して伝えていきます。

Ⅳ 学校評議員より

- ・子供は、1年間でこれほど大きく成長するというを改めて感じている。集団の中で色々な経験をすることで、子供たちが成長している。学校教育活動の中で、みんなで取り組むことに意義があるのだと思う。
- ・子供たちが落ち着いた雰囲気の中で生活していると感じる。学校はその時々でベストを尽くしており、それが概ねよいという学校評価につながったのではないかと感じる。先生方も無理をせずに休める時には、休んでほしい。
- ・先生方は子供たちのちょっとした変化でも声をかけてくれ、子供が安心して学校へ通っている。保護者も協力できることをしていきたい。
- ・自宅に帰っても子供たちがタブレットに触れていることが多く、本を手にとることが少ない。タブレットに慣れる大切さも考えると、使い方や助言する内容について悩む。これからの課題になってくるであろう。